

# テオク構文とテアル構文の非対称性について

杉 村 泰

## 1. はじめに

テオク構文とテアル構文は意味的に関連のある構文として、日本語教育においてもセットで説明されるのが普通である。

- (1) A「明日パーティーがあるからビールを冷やしておいてください。」  
B「もう冷やしてありますよ。」

(1)のA Bはともに「ビールを冷やす」という行為がパーティーのための目的行為であることを表している。両者の違いはテオクが「行為 結果」の「行為」に焦点を置いた表現であるのに対し、テアルは「結果」に焦点を置いた表現であるという点にある。こうした考え方は吉川(1973)、益岡(1992)、山崎(1996)など広く認められた考え方で、本稿でも基本的にこの考え方に従う。

ところで、テオク構文とテアル構文が同一事態の「行為」と「結果」を表す表現であるとするならば、「冷やしておく 冷やしてある」のように、一方が成立すればもう片方が成立しても良さそうである。しかし、実際には常にそうなるとは限らない。例えば、次のような場合にはテアル構文は使えてもテオク構文は使えない。

- (2) a. おや、机の上にサイフが忘れてある。  
b. \*机の上にサイフを忘れておいた。(わざとではなくうっかりと)

また逆に、次のような場合にはテオク構文は使えてもテアル構文は使えない。

- (3) a. 彼との再会を楽しみに待っておこう。  
b. \*彼との再会を楽しみに待ってある。  
(4) a. 病気で苦しむ前に死んでおきたい。  
b. \*病気で苦しむ前に死んである。

このように、テオク構文とテアル構文は必ずしも常に一対一に対応するわけではない。こうした現象を本稿ではテオク構文とテアル構文の「非対称性」と呼ぶことにする。一般にテオク構文とテアル構文はその対称的な側面にのみ焦点を当てて論じられてきた。これに対し、本稿では両者の非対称的な側面に着目して考察を行なっていくことにする。

## 2. テアル構文の 2 類型とテオク構文

筆者はこれまで先行研究と同様に、テアル構文を「結果相」を表す表現として考えてきた。しかし、テアル構文には「存在表現」として扱った方がよいと考えられる性質がある。そこで本稿ではテアル構文の意味について次のように考えることにする。

テアル自体の意味：行為の結果に重点が置かれる「存在表現」

A 型：対象ガ ~テアル （動作主は抑制される）

意味...行為の結果もたらされる対象の存在や変化を表す

（例）おや、窓が開けてある。

B 型：動作主ガ （対象ヲ/ニ/ト） ~テアル

意味...行為の結果が何らかの有効性を示すことを表す

（例）換気のため、窓を開けてある。

もう一つ、これは以前から主張してきたことであるが、先行研究と筆者の考えの大きな違いは、先行研究ではテアル構文を「意志的」行為の結果を表す表現であるとしているのに対し、筆者は次のような無意志のテアル構文の存在を根拠に、「意志性」はテアル自体に備わったものではなく、「行為描写文」という構文の特性に由来するものであることを主張した点にある。

(5) おや、机の上にサイフが忘れてある。うっかりしていたんだな。

(6) おや、またガスがつけっぱなしにしてある。消し忘れが多いな。

ところで、益岡(1992)はテアル構文を A 1 型、A 2 型、B 1 型、B 2 型の 4 つに分類し、そのうちの B 2 型がテオク構文と連関すると論じている。

B 2 型というのは、(33)のような、基準時以降における行為の結果の有効性を表す構文であった。

(33) 京都府警に鑑定を頼んである。

この文では、鑑定を依頼したことが今後の事態の展開の中で有効性を発揮するという状況が表されている。

このような状況を行為の面に焦点を置いて表現したものがテオク構文である。後の時点での有効な状況を作り出すための行為を描くわけである。(33)の文と次の文を比較していただきたい。

(42) 京都府警に鑑定を頼んでおいた。

(42)の文では、後の事態の展開に備えて鑑定を依頼したことが描かれている。

(益岡1992: 535)

こうして益岡(1992)は「テオクという行為を結果の状況に焦点を置いて表現したものがテアルである」(p.535)と説明した。

また山崎(1996)はテアル構文を客体の結果の状態を表す「～である」1)と、先行する意図的な動作の基準時点における効力(結果的な状態)を表す「～である」2)とに分類し、後者とテオク構文との関係について次のように論じている。

結果的な状態=効力 を表すという点において、「～ておく」の用法と共通するが、「～である」2)は「～ておく」のように先行する意図的な行為に焦点があるのではなく、結果的な状態=効力 に焦点があるという点で異なっている。動作主体が先を見通して行う行為の側から眺めているか、後に残る結果的な状態=効力 から、先行した行為を振り返って眺めているかという違いである。

(山崎1996: 17)

このようにテオク構文とテアル構文は、同一事態について「行為」に焦点を置くのか「結果」に焦点を置くのかという違いによって使い分けられていると考えられる。

しかし、もしそうであるとするならば、なぜ(2)～(4)のように一方の表現は使えてももう一方の表現は使えないということが起こるのであろうか。同じ事態を別の局面から見るだけであれば、視点さえ変えればテオク構文もテアル構文も使えるはずである。この点について見ていくと、動詞によってはその意味的性質により一方の面からしか描写することのできないものもあることが分かる。これについては5節で論じることにする。

### 3 . 意志性の問題

高橋 (1969)、森田 (1977)、寺村 (1984)、益岡 (1987、2000)、大場 (1995) など、一般にテアル構文は「意志的行為」の結果を表す表現であるとされてきた。これに対し、杉村 (1995、1996a、1996b、2002) では、意志性は「テアル」自体に備わったものではないことを主張した。

まず A 型のテアル構文から見ていく。例えば「置く」は通常意志的な行為を表す。そのため「置いてある」という表現には意志性が伴うのが普通である。

(7) こんなところにサイフが置いてある。何のためだろう？

しかし、「置く」は「置き忘れる」の意味で無意志の行為を表すこともある。その場合には無意志のテアル構文が成立する。

(8) こんなところにサイフが置いてある。誰が忘れていったんだろう？

無意志のテアル構文は「すべき処置を怠った」という文脈において使われることが多い。次の文は動作主の意志とは無関係に「うっかり」なされた場面で使われている。

(9) おや、またガスがつけっ放しにしてある。消し忘れが多いな。

(10) おや、おもちゃが散らかしたままにしてある。片づけ忘れだな。

A 型のテアル構文は「情景描写文」(広義の「存在文」)の一つに数えられ、対象がどのように「ある」のかを述べた表現である。その点で存在を表す本動詞「ある」と関係する。眼前の対象は動作主の意志によってもたらされるのが普通であるが、無意志の行為によってもたらされる場合もある。しかし、いずれにしても動作主は自然現象ではなく人間(あるいは動物)に限られるという選択制限がある。テアル構文によって表される行為は、中畠 (1999) の言うように「人為的」なものに限られる。

(11)a . \*(台風によって)木が倒してある。

b . (木こりによって)木が倒してある。

一方、B 型のテアル構文は動作主の意志的行為の結果、何らかの有効性を示すことを表す表現である。そのため、動詞は意志的なものが使われる。

(12) 私は泥棒に見つからないように、意外な場所にサイフを置いてある。

B型のテアル構文は益岡(1992)の指摘にもあるように、「～テオク」という行為を結果の状況に焦点を置いて表現したものである。

(13) 私は泥棒に見つからないように、意外な場所にサイフを置いておいた。

テオク構文は動作主が何らかの「準備・目的」の意識を持って行動することを表す表現である。そのため、使われる動詞には意志性が伴うのが普通である。しかし、中には無意志のテオク構文もあるので注意が必要である。次の文は動作主の意志とは無関係に「うっかり」なされた場面で使われている。

(14) 私はうっかりサイフを出しっぱなしにしておいて、泥棒に盗まれてしまった。

このように「すべき処置を怠った」という文脈では、無意志のテオク構文も成立する。一般にテオク構文は「意志的行為」を表すとされている中で、こうした表現の存在は注目に値する。ここで重要なことは、このようなテオク構文はB型のテアル構文ではなくA型のテアル構文に対応するものであるということである。

(15) \*私はうっかりサイフを出しっぱなしにしてある。

(16) おや、サイフが出しっぱなしにしてある。泥棒に盗まれるぞ。

テオク構文の中にはA型のテアル構文に対応するものもあることを指摘しておきたい。

#### 4. 「存在文」と「情景描写/行為描写」

筆者はこれまでB型のテアル構文を「行為描写文」として捉えてきた。確かにB型のテアル構文は「動作主ガ 対象ヲ/ニ/ト 動詞 テアル」という形式をとり、動作主の目的的行為を表すという意味では行為描写的な面を持っている。この点で対象の存在を表すA型のテアル構文とは異なっている。しかし、テオク構文が「シテオコウ」(意志/勧誘)、「シテオケ」(命令)、「シテオクナ」(禁止)、「シテオキタイ」(希望)のように動的な意味を表すのに対し、B型のテアル構文にはこうした用法はなく、行為の結果を静的に描写しているのみである。したがって、見方を変えるとA型のテアル構文が「対象の存在」を

表す存在文であるのと同様に、B型のテアル構文は「有効性の存在」を表す存在文であると考えられる。例えば(17)は「私」の中に「練習の成果」が存在していること、(18)は「こちらと先方」の間に「話をしておいたという事実」が存在していることを表していると考えられる。

(17) 私は試合に勝つために十分練習してある。

(18) 今度の仕事のことは前もって先方に話してある。

従来テアルはテイルと同様にアスペクトを表す形式として議論されることが多かった。しかし、上のように見ると、テアル構文はA型もB型も広義の存在表現なのではないかと考えられる。テアル構文は行為の結果と関わるという点ではアスペクト的な面も見せているが、テオク構文と違い「行為」そのものではなく「結果」の状況を描写していることから、本稿ではこれを存在表現の一種として扱うことにする。

## 5 . テアル構文とテオク構文の非対称性

### 5 . 1 テアル構文とテオク構文の位置付け

ここではテアル構文とテオク構文の位置付けについて見ていくことにする。まずA型のテアル構文は本動詞「ある」と関係し、「対象の存在」を表す表現である。「ある」が単に対象の存在を述べた表現であるのに対し、A型のテアル構文は対象がどのように存在するのかを述べた表現である。例えば(19)を例に説明すると、(19a)が単に本の存在を描写しているだけなのに対し、(19b)は本がどのような状態で存在しているのかまで述べている点に違いがある。

(19)a . 机の上に本がある。

b . 机の上に本が { 置いて / 立てて / 寝かせて / 並べて / 積んで } ある。

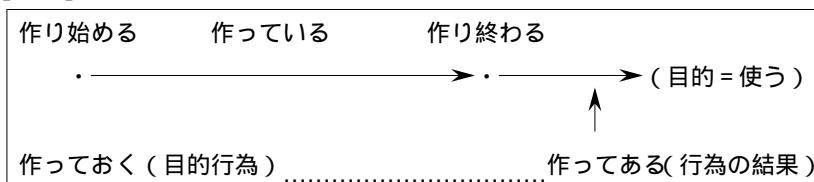
一方、B型のテアル構文はテオク構文と関係し、行為の結果が何らかの有効性を示すことを表す表現である。テオク構文がその行為の「行為」面に焦点を置いた表現であるのに対し、B型のテアル構文はその行為の「結果」面に焦点を置いた表現である。例えば(20)を例に説明すると、(20a)は「すぐに読めるようにする」ための目的行為を表しているのに対し、(20b)は「本を置いた」結果、「本がすぐに読めるようになった」という効果が現れていることを表している。

- (20) a . すぐに読めるように、机の上に本を置いておく。  
 b . すぐに読めるように、机の上に本を置いてある。

このように、B型のテアル構文は「行為」そのものを表すのではなく、行為の結果、何らかの有効性がそこに存在していることを表している。すなわちA型のテアル構文が「対象の存在」を表す表現であるのに対し、B型のテアル構文は「有効性の存在」を表す表現なのである。

テオクとテアルは、行為の流れの中で図1のような位置に位置付けられる。図1において「作っておく」は「作る」という行為が後に来る目的のための行為であることを表し、「作ってある」はその行為の結果、後に来る目的のための有効性が存在していることを表している。

【図1】テアル構文とテオク構文の位置付け



## 5.2 無意志のテアル構文、テオク構文

杉村(2002)では意志性のないテアル構文について考察し、A型のテアル構文には次のように無意志のものが存在することを指摘した。

(21) 車を発車させようとしたさくらが、ふと車のシートに西崎のコートが忘れてあるのに気づく。( <http://isweb30.infoseek.co.jp/cinema/hamiry/ura06.html> )

(22) きっと忘れたんだ。そんなら中の口におき忘れてあるんだ。

( [http://www.rinrai.co.jp/book/90004/bokunoboushi/bokunoboushi1\\_BRW.htm](http://www.rinrai.co.jp/book/90004/bokunoboushi/bokunoboushi1_BRW.htm) )

A型のテアル構文は、行為の結果もたらされる対象の存在や変化を表す。無意志の行為であっても行為の結果が話し手の目に見える形で示されていれば、A型のテアル構文を作ることができる。しかし、これに対応する無意志のテオク構文は成立しない。

(23) \*車のシートに西崎のコートを忘れておいた。

(24) \*中の口に置き忘れておいた。

(23) (24) が言えるとするれば、「わざと忘れておいた」、「わざと置き忘れておいた」の意味の場合である。しかし、その場合の「忘れる」、「置き忘れる」は意志的な動詞として使われたことになるため、無意志のテオク構文とは言えなくなる。

また、「(卵を)産んである」のような動物の行為の場合、行為の結果が話し手の目に見える形で示されていれば、A型のテアル構文を作ることができる。その場合、動物に意志があったかどうかは問題にされていない。しかし、これをテオク構文にすると、その動物が意志的に行なった行為であると解釈されるようになる。これはテオク構文が目的行為を表す表現だからである。

(25) a . 今朝オイヤボが数個卵を産んであるのを発見した。

( [http://www09.u-page.so-net.ne.jp/db3/i-mitsu/Breeding\\_file4.htm](http://www09.u-page.so-net.ne.jp/db3/i-mitsu/Breeding_file4.htm) )

b . 今朝オイヤボが数個卵を産んでおいた。

ところで、原沢 (1998) は無意志のテアル構文について次のように論じている。

受動型のテアルは「行為によって生じた変化」を描写する。テアルとテイルが対立する場合、テアルは変化が意志的行為によるものであることを認識するが、テイルはその原因が何であれ変化の状態をありのままに表現する。これに対して、対応するテイルを有しないテアルでは、上記のテイルとテアルの用法を包含する形で、行為による変化の状態を描写するのである。( pp.21 22 )

杉村 (1996) (杉村注 : 1996b) の議論にある意志性のないテアル構文について、筆者の考えを述べてみたい。まず、非意志的行為として分類された「産む」「忘れる」の例文である。

(44) あっ、あそこに卵が産んである。

(45) おや、机の上にカパンが忘れてある。

例文(44)の「卵を産む」には対応する自動詞がないことから、「卵を産む」という行為によって生じた状態が客観的に描写されているわけである。ただし、この行為では、場所を変えて産み落とすことができるわけで、その意味で「産む」という動作にまったく意志性がないとは断言できない。例文(45)の「忘れる」は、ここでは「何かを不注意で置いてきてしまう」という意味であり、対応する自動詞もないことから、そのような非意志的行為によって生じた事態を現前描写的に表現していると言えるだろう。( p.22 )



原沢(1998)は対応する無意志のテアル構文の成立条件として、対応する自動詞の有無があると論じている。確かに「開ける/開く」、「切る/切れる」のように自他の対応する動詞の場合、動詞自体は「うっかり開ける」、「うっかり切る」のように無意志の行為を表せても、テアル形になると意志性を帯びるのが普通である。この点、なぜそうなるのかについてはさらに検討が必要である。

次に「すべき処置を怠った」という意味を表す文について見る。「～しっぱなしにする」は意志的な行為も無意志的な行為も表すことができ、それぞれ対応するテアル構文を持つ。(26)は意志性のある例、(27)は意志性のない例である。後者の場合、動作主にキーをつけっぱなしにする意志はなく、うっかりかけ忘れただけである。

(26) インタ - ネットにも接続可能で、一旦接続すると、その人が使い終わっても回線を切断せず、次の人がすぐに使えるように、繋(つな)ぎ放しにしてある。

(<http://www.xdos.co.jp/>)

(27) 思わず自転車をにらみつける歌鳥。と、その自転車にキーがつけっぱなしにしてあるのが目にとまった。( <http://www.ktplan.ne.jp/~songbird/diary/diary0112b.htm> )

さらに、テオク構文にもそれぞれに対応するものが存在する。(28)は意志性のある例、(29)は意志性のない例である。後者の場合、動作主に電灯をつけっぱなしにする意志はなく、うっかり切り忘れただけである。

(28) ガス小型湯沸し器を使っています。不完全燃焼に注意するようといわれるのですが、使用中は換気扇をつけっぱなしにしておいた方が良いでしょうか？

( [http://www.lilac.co.jp/idemitsu/h\\_help1.htm](http://www.lilac.co.jp/idemitsu/h_help1.htm) )

(29) ある年、夏休みの帰省からアパートへ帰ると、私の部屋のトイレの灯りがついていて、そーだ、私はスイッチを切り忘れ、ひと夏電灯をつけっぱなしにしておいたのだ。( <http://soholife.hp.infoseek.co.jp/ayasii4.html> )

同様に「～したままにする」も意志的な行為と無意志的な行為を表すことができ、それぞれに対応するテアル構文が存在する。(30)は意志性のある例、(31)は意志性のない例である。後者の場合、動作主に部屋を散らかす意志はない。

(30) 掲示板・チャット・日記などは開けたままにしてあるから用がある人はどんどん利用してクレよ ( <http://isweb11.infoseek.co.jp/novel/akuru/> )

(31) ご飯を食べたそのまま、散らかしたままにしてある

( [http://www6.shizuokanet.ne.jp/usr/s\\_naomi/utogi/hogen/hogen.htm](http://www6.shizuokanet.ne.jp/usr/s_naomi/utogi/hogen/hogen.htm) )

さらに、テオク構文にもそれぞれに対応するものが存在する。(32)は意志性のある例、(33)は意志性のない例である。

(32) お風呂から上がってみると、灯けたままにしておいたはずの居間の電気が消えていた。( <http://ran.sakura.ne.jp/~ayuya/moonlight.htm> )

(33) 部屋の片付けをしていたら、驚くべきものを発見。先々週に出張で行ってきた、熊本土産の御菓子である。役所に持っていくはずだったのに、なぜまだ部屋にあるのか。すっかり忘れていた。部屋を散らかしたままにしておくからだ。

( [http://www.synapse.ne.jp/raven/diary\\_01\\_08.htm](http://www.synapse.ne.jp/raven/diary_01_08.htm) )

このように「すべき処置を怠った」という文脈では、無意志のテアル構文や無意志のテオク構文も成立する。

### 5.3 テアル構文とテオク構文の対称例

すでに論じたように、テオク構文とテアル構文は同一事態の「行為」面と「結果」面を描写する表現である。そのため、両者は一方が成立すればもう片方も成立するのが普通である。上に見た通り「置く」、「作る」、「冷ます」のような典型的な他動詞の場合、それは明らかである。同様に「生かす」、「呼ぶ」、「結婚する」、「走る」、「寝る」のような非典型的な他動詞や自動詞の場合も、テオク構文とテアル構文の両方が成立する。

(34)a . 女だからと甘く見て生かしておいた事を後悔させてやる。

( <http://inura3.hp.infoseek.co.jp/i/elf/05/03.html> )

b . 「お前らは重罪人だ。船を漕がせる為だけに生かしてある」

( <http://sapporo.cool.ne.jp/keibahoric/seymour/d0003.html> )

(35)a . 彼はすぐさま人工冬眠装置を用意し、あらかじめ呼んでおいたマスコミを通じ、全世界にこのことを発表した。( <http://tompara.hp.infoseek.co.jp/sitto.html> )

b . 「ああ、奴らを倒す作戦はある。だが人材が足りん。仕方が無いからトムを呼んである」( <http://suzuka.cool.ne.jp/meiou/goken/goken-14.htm> )

(36)a . 老後のことを考えると、やっぱり結婚しておいたほうがいいのかもしませ  
ん。( <http://www.deai.co.jp/storyw8.html> )

b . 色々有るが、それも現実だとしたら、ちゃんと結婚してある方もおられるの

も現実だ。( <http://www.mermaid.ne.jp/bbs/8.html> )

(37)a . 大会前に、何度か走っておくことも忘れないように。

( <http://www.honomara.com/technic.htm> )

b . インプレッサでサーキット走っております。

( <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/k-kazuya/carlink.htm> )

(38)a . 午後から友達と会う約束をしていたのでとりあえず、少し寝ておきました。

( <http://www08.u-page.so-net.ne.jp/rf6/maien/nikkijune.htm> )

b . たっぷり寝てあるし、追加疲労点5点あるから徹夜もできる

( <http://hotpace.jp/~uguisu/youma/log/log/senketuno.txt> )

## 5.4 テアル構文とテオク構文の非対称例

### 5.4.1 待つ

「待つ」はテオク構文にして何らかの目的行為を表すことができる。

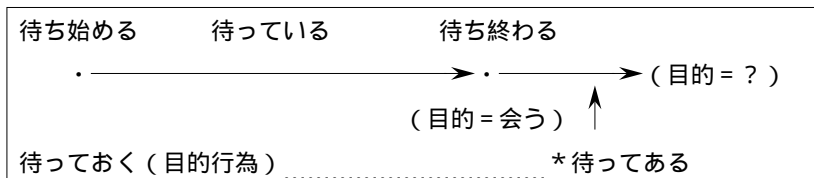
(39) さて次のオリジナルアルバムではどんな曲に出会えるのか、楽しみに待っておこう。( <http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Cafe/6141/nao01/NAO1.html> )

(40) 現在、彼女は受験生ということなので、今告白してしまうと彼女の勉強などにも影響が出てきたらきっと困ると思うので彼女の受験が終わるまでは少し待っておいた方がいいと思います。( <http://www5b.biglobe.ne.jp/~kiyori/koibanasi.htm> )

(41) 「...分かりました。7時ごろには戻ってきてくださいね。作って待っておきます。」( <http://www7.ocn.ne.jp/~izayoi/SS/va-ss1.htm> )

しかし、これに対応する「待ってある」という表現は不自然である。この理由は次のように考えられる。B型のテアル構文は行為の結果が何らかの有効性を示すことを表すが、「待つ」は行為の終了と目的が同時に達成されてしまうため、行為の終了後の有効性の存在を示すことができない。そのためテアル構文を作れないのである。(図2)

[図2] 「待っておく」と「待ってある」の位置付け



しかし、テオク構文の場合は「結果」よりも「行為」の方に焦点があるため、動作主の目的行為を表す表現として使えるのであると考えられる。ここにテオク構文とテアル構文のずれが見られる。なお、「待つ」は「待ち始める」、「待ち続ける」とは言えても「待ち終わる」は不自然である。今後はこの点についても考える必要がある。

#### 5.4.2 生活する、暮らす、成長する、生きる

「生活する」、「暮らす」、「成長する」、「生きる」もテオク構文にして何らかの目的行為を表すことはできるが、テアル構文は使いにくい。

(42) でも、今こういう生活しておくと普通の生活に戻ったときものすごく楽に感じるんですね。( <http://homepage1.nifty.com/hirot/d-text.htm> )

(43) 今からその経験を積んでゆけば良いじゃあないか？ということになるのだが、その通りとも言えるし、早いうちにいっぺん 外に出て暮らしておいた方が良かったのかな？なんて思ったりもした。( [http://plaza24.mbn.or.jp/~higu\\_mori/diary/02feb.htm](http://plaza24.mbn.or.jp/~higu_mori/diary/02feb.htm) )

(44) あなたに逢えて私は成長したわ。でも、次に会うときにまでもっと成長しておくから、成長した姿を必ず見に来てね。

( <http://www.interq.or.jp/mouse/takefuto/matoechat/> )

(45) 歯は一生涯もつものです。決して老化現象で抜けてしまうものではありません。(老化で抜けるのを待つのなら250才まで生きておく必要があるのです)

( <http://www.dentalcc.co.jp/sakaidc/introduce.html> )

これらの動詞も「～し始める」、「～し続ける」とは言えても「～し終わる」は不自然である。これらの動詞は行為の結果面に対して焦点が当たりにくいものと思われる。

#### 5.4.3 死ぬ

死ぬばそれで終わりなので、死んだ後の結果を表す「死んである」は使えない。しかし、死ぬ前にそれを目的行為として述べることはできるので「死んでおく」は使える。

(46) 「はっはっは、どの道お前達は死ぬのだ。ここで死んでおいた方が、苦しみを長引かせずに済むと言うものだぞ？」

( [http://www1.interq.or.jp/~trernoth/library/f\\_long/ladius/04/ladius25.html](http://www1.interq.or.jp/~trernoth/library/f_long/ladius/04/ladius25.html) )

(47) 「僕はあの時死んでおくべきだったんでしょうね」

( <http://isweb26.infoseek.co.jp/novel/dignity/dulcinea02.htm> )

また、一度死んでまた生き返るという場面でも「死んでおく」は使える。

- (48) 「生きるの一日だけでよいと思うようになってから、毎晩寝るときに、家内や娘に『さようなら』と心の中で別れの挨拶してふとんにもぐるようにしたんですね。そうすると、朝が来るとわくわくして嬉しくてしょうがない、何か儲けたような気持ちで、朝、目覚められるようになった。これは夕べいちど死んでおいたおかげなんだよ。( <http://www.president.co.jp/pre/editor/990120.html> )

この場合、「夕べいちど死んであるおかげなんだよ」と言えそうであるが、「死んでおいた」に比べると許容度は低いように思われる。実際、このような「死んでおく」はコンピュータゲームの解説等でしばしば見かける表現であるが、「死んである」は見かけない。インターネットを検索しても、こうした「死んである」は出てこなかった。

#### 5.4.4 勝つ、負ける

「勝つ」、「負ける」も何らかの目的のための行為であることを表すために、テオク構文を作ることができる。しかし、これに対応する「勝ってある」、「負けてある」は不自然である。

- (49) 来年も「泰星は強い」という印象を与えるためにも「勝っておくべきだったなあ」と少し後悔している。( <http://www.coara.or.jp/~taisei/home99/shougi99hor.html> )
- (50) 戦争も似たようなものであろう。『勝てばいい』というのは戦術的思考だが、そのときの都合で、『ここは負けておく』には、戦略的思考が必要である。

( <http://www.kcn.ne.jp/~momonga/kaban/kaban004.htm> )

同じ意志動詞でもテアル構文になりやすいものとなりにくいものがある。この違いについては、テアル構文が広義の存在文であることと関係すると考えられる。つまり、A型の場合は「対象の存在」が、B型の場合は「有効性の存在」が何らかの形で話し手に知覚されやすいものがテアル構文になりやすいと考えられるのである。例えば、A型の場合、「字が書いてある」なら文字、「本が置いてある」なら本、「音楽が流してある」なら音楽の存在が話し手によって知覚され、B型の場合、「手紙を書いてある」なら情報の伝達、「歌を歌ってある」なら歌唱力アップ、「十分に寝てある」なら疲労解消が話し手によって知覚されている。しかし、「勝つ」、「負ける」の場合は、「勝ち負けの結果」という目に見えにくい形のものしか残らない。そのため、テアル構文よりは、行為そのものを前面に押し出すテオク構文の方が使いやすいのである。

#### 5.4.5 信じる、尊敬する、喜ぶ、知る

「信じる」、「尊敬する」、「喜ぶ」、「知る」は自分の意志ではコントロールできない行為を表す。そのため、次のような表現は「～しようとしてやる」の意味で解釈される。しかし、これに対応するテアル構文は不自然である。

(51) 今年は初詣に行って「おみくじ」もひいたよ。「中吉」だった。まあ、いいことばかり書いてあった。こういうのは信じておくことにする。

( <http://www2.netwave.or.jp/~fumiko-k/mypage7000124.html> )

(52) つらつら考察するに、阿 Q が趙旦那と同族だと称するからには、たとえ殴られたにしろ、ひょっとすると幾分ほんとうかも知れぬという疑いがある、当たらず触らずに尊敬しておいた方が無難だという気持ちからであったかもしれない。

( <http://hiroshima.cool.ne.jp/ogaman/tokkan/akyuu.html> )

(53) お父さんがデジカメのマニュアル本を買ってきた。PC 雑誌にもけっこう情報載ってるし、今更...って思ったけど喜んでおいた。

( <http://www.rikkyo.ac.jp/~98bb278b/diary1.html> )

(54) 私たちが生活している社会の法律を知っておくことは損ではないはずですよ。

( <http://www.pep.ne.jp/tips/horitu/index.html> )

#### 5.4.6 間違える、悩む

「間違える」、「悩む」は本来無意志の行為を表す。しかし、テオク構文やテアル構文を作る場合には意志的な行為を表す。

(55) この英文はわざと間違えてある。( <http://indy.doshisha.ac.jp/~watabe/comp/L4.htm> )

(56) 悩めるうちにどんどん悩んでおくのが一番。

( <http://www.gld.mmtr.or.jp/~inokme/ai/ibbsf2.cgi> )

次のような「間違えてある」は対象の存在に焦点が当たるため、A 型のテアル構文である。すでに論じたように、この場合は対応するテオク構文を持たない。

(57) おいおい、なんだ自販機が入れ間違えてあるんじゃない(^.^; まいったなー。

( <http://www.ryoutan.co.jp/k/k2000/n2000-9b.htm> )

(58) ただ、帯の「遙」って言う字が間違えてあるよ.....。「遥」になってる。かなり萎え.....。この間違えは一生無くならいだろうな

( <http://www2.bbbspink.com/hgame/kako/998/998864870.html> )

## 6. まとめ

以上、テオク構文とB型のテアル構文は、同一事態の「行為」と「結果」を異なる側面から描写した表現であることを認めた上で、その非対称的な部分に焦点を当てて考察を行った。その結果、テアル構文はA型の場合もB型の場合も広義の存在文として位置付けられることが分かった。益岡(2000)はテアル構文をテイル構文と同様にアスペクトのカテゴリーに入れている。しかし、工藤(1995)の指摘にもあるように、テアルは「スル - シテイルのアスペクト対立のように、典型的なかたちで、文法化されているとは言い難い」(pp.31 - 32)。本稿ではテアル構文はアスペクト的な性質を備えた存在文であることを主張する。

### 参考文献

- 大場美穂子(1995)「「～である」について」, 第八回日本語文法談話会でのハンドアウト  
 工藤真由美(1995)『アスペクト・テンス体系とテキスト』, ひつじ書房  
 杉村 泰(1995)「テアル構文における動作主の人称制限と話し手の視点」『ことばの科学』第8号, pp.33 - 50, 名古屋大学言語文化部言語文化研究委員会  
 (1996a)「テアル構文の意味分析 その「意図性」の観点から」『名古屋大学人文科学研究』第25号, pp.73 - 95, 名古屋大学大学院文学研究科人文科学研究編集委員会  
 (1996b)「形式と意味の研究 テアル構文の2類型」『日本語教育』91号, pp.61 - 72, 日本語教育学会  
 (2002)「意志性のないテアル構文について」『言語文化論集』24 - 1, pp.159 - 174, 名古屋大学言語文化部・国際言語文化研究科  
 高橋太郎(1969)「すがたともくろみ」, 金田一春彦(編)(1976)『日本語動詞のアスペクト』, pp.117 - 153, むぎ書房  
 寺村秀夫(1984)『日本語のシンタクスと意味 II』, くろしお出版  
 中畠孝幸(1999)「結果を現す構文について テアルとラレテイル」『三重大学日本語学文学』第10号, pp.45 - 54, 三重大学日本語学文学会  
 原沢伊都夫(1998)「テアル形の意味 テイル形との関係において」『日本語教育』98号, pp.13 - 24, 日本語教育学会  
 益岡隆志(1987)『命題の文法 日本語文法序説』, くろしお出版  
 (1992)「日本語の補助動詞構文 構文の意味の研究に向けて」, 文化言語学編集委員会(編)『文化言語学 その提言と建設』, pp.532 - 546, 三省堂  
 (2000)『日本語文法の諸相』, くろしお出版  
 森田良行(1977)『基礎日本語』, 角川書店  
 山崎 恵(1996)「「～ておく」と「～である」の関連性について」『日本語教育』88号, pp.13 - 24,

言語文化論集 第 XXIV 巻 第 2 号

日本語教育学会

吉川武時(1973)「現代日本語動詞のアスペクトの研究」, 金田一春彦(編)(1976)『日本語動詞のアスペクト』, pp.155 - 323, むぎ書房